

環境産業委員会

委員長 山本裕三

当委員会では年間テーマを「ポストコロナを見据えた新たな生き方に合わせた移住定住策」とし、「市内の古民家を活用した農泊事業」、「空き家空き地の活用」、「コワーキングスペース」、「サテライトオフィス」、「リモートワーク」、「アートによる町おこし」などの現状課題を調査研究し、協議会を開催しました。

調査研究について

市内の移住定住に関わる事業者等の方々からヒアリング・意見交換を行い、その後協議した内容とWEB de かけがわ議会報告会の市民アンケートのご意見も踏まえて、市当局と意見交換を行いました。



「かけがわ栗ヶ岳山麓農泊推進協議会」の取り組みについて。人材不足と地域との連携強化の必要性



原泉のアートイベントを通し、地域との関係づくり、交流人口から関係人口への構築



商店街の空き店舗をリノベーションしたコワーキングスペース（レンタルオフィス）を活用し、地域の活性化を推進



市内にサテライトオフィスを設立した事業者の实情に基づいた制度設計について



フリーランスとしての新しい生き方、学びの場としての情報発信



社員 700 名全てリモートワークの企業より、「新しい働き方について」オンライン講演

まとめ

環境産業委員会として、①地域おこし協力隊等、外部人材の活用 ②空き家を利活用した移住者体験モデルハウスの設置 ③文化芸術での関係人口増加策の推進 ④サテライトオフィス誘致の補助制度の創設 ⑤庁内組織横断で取り組むこと、等が必要と考えています。今後、市議会として市当局への政策提言に向けて取り組んでいきます。